

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 25 年 6 月 27 日 (2013.6.27)

【公表番号】特表 2012-533161 (P2012-533161A)  
 【公表日】平成 24 年 12 月 20 日 (2012.12.20)  
 【年通号数】公開・登録公報 2012-054  
 【出願番号】特願 2012-520026 (P2012-520026)  
 【国際特許分類】

H 0 1 H 47/00 (2006.01)

A 6 1 G 7/08 (2006.01)

【F I】

H 0 1 H 47/00 F

A 6 1 G 7/08

【手続補正書】  
 【提出日】平成 25 年 4 月 30 日 (2013.4.30)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのモータ ( 4 . 1 ) を備える少なくとも 1 つの駆動ユニット ( 4 ) と、  
 それぞれモータ接点エレメント ( 1 2 . 1 ; 1 3 . 1 ) と安全接点エレメント ( 1 2 . 2 ; 1 3 . 2 ) を有する少なくとも 2 つの操作ユニット ( 1 2 , 1 3 ) を備える少なくとも 1 つの操作装置 ( 2 ) と、

少なくとも 1 つの給電ユニット ( 3 ) と、

少なくとも 1 つの安全装置 ( 9 ) とを有するファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) であって、

前記家具駆動部 ( 1 ) は、前記少なくとも 2 つの操作ユニットの機能表示およびエラー表示のための通報装置と安全装置 ( 9 ) とによって構成されている、ことを特徴とするファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 2】

少なくとも 2 つの操作ユニット ( 1 2 , 1 3 ) のモータ接点エレメント ( 1 2 . 1 ; 1 3 . 1 ) は、モータ電流を切り換えるため少なくとも 1 つのモータ ( 4 . 1 ) と接続可能である、ことを特徴とする請求項 1 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 3】

それぞれ 1 つのモータ接点エレメント ( 1 2 . 1 ; 1 3 . 1 ) と安全接点エレメント ( 1 2 . 2 ; 1 3 . 2 ) が機械的に相互に結合されている、ことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 4】

それぞれ 1 つのモータ接点エレメント ( 1 2 . 1 ; 1 3 . 1 ) と安全接点エレメント ( 1 2 . 2 ; 1 3 . 2 ) が同時にまたは連続して操作される、ことを特徴とする請求項 3 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 5】

少なくとも 2 つの操作ユニット ( 1 2 , 1 3 ) の安全接点エレメント ( 1 2 . 2 ; 1 3 . 2 ) は、安全スイッチエレメント ( 1 5 ) を操作するために少なくとも 1 つの安全装置

( 9 ) と結合されている、ことを特徴とする請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 6】

少なくとも 1 つの安全装置 ( 9 ) は、操作装置 ( 2 ) 、給電ユニット ( 3 ) 、電圧源 ( 8 ) 、またはそれらの組み合わせの中に配置されている、ことを特徴とする請求項 2 から 5 までのいずれか 1 項に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 7】

少なくとも 2 つの操作ユニット ( 1 2 、 1 3 ) の安全接点エレメント ( 1 2 . 2 ; 1 3 . 2 ) は、少なくとも 1 つの安全装置 ( 9 ) を形成する、ことを特徴とする請求項 6 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 8】

安全接点エレメント ( 1 2 . 2 ; 1 3 . 2 ) はそれぞれ対応するモータ接点エレメント ( 1 2 . 1 ; 1 3 . 1 ) と電気的に直列に接続されている、ことを特徴とする請求項 6 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 9】

通報装置 ( 1 0 ) は光学的および / または音響的通報エレメント ( 1 1 ) を有する、ことを特徴とする請求項 1 から 8 までのいずれか 1 項に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 10】

通報装置 ( 1 0 ) は光学的通報エレメント ( 1 1 ) として発光ダイオードを有する、ことを特徴とする請求項 8 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 11】

通報装置 ( 1 0 ) は、通報エレメント ( 1 1 ) を評価する論理回路および / またはコントローラの形で少なくとも 1 つの評価ユニットを有する、ことを特徴とする請求項 9 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 12】

通報装置 ( 1 0 ) は評価ユニットとしてダイオードユニット ( 1 4 ) を有する、ことを特徴とする請求項 11 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 13】

通報装置 ( 1 0 ) は、高抵抗の抵抗 ( R 3 , R 5 , R 6 ) を備える少なくとも 1 つの発光ダイオードを有する、ことを特徴とする請求項 8 または 9 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 14】

安全装置 ( 9 ) は、補助電圧源 ( 1 7 ) を備える電源スイッチユニット ( 1 6 ) の構成部分である、ことを特徴とする請求項 1 から 13 までのいずれか 1 項に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 15】

補助電圧源 ( 1 7 ) は、電源に接続された補助電圧トランス ( 1 7 . 1 ) である、ことを特徴とする請求項 14 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。

【請求項 16】

補助電圧源 ( 1 7 ) は、バッテリー、再充電可能なバッテリーおよび / または大容量のコンデンサである、ことを特徴とする請求項 14 に記載のファーストフェイルセーフ機能付き電動家具駆動部 ( 1 ) 。